



発売CDは十数枚。現在購入できるのは「月夜作品集 Seeds～小さな種～」
 「空と大地がひとつになる時」「毎日がHAPPY BIRTHDAY」。
 ライブ会場または通販にて。
 今年最後のライブは12月30日/京都「モダンタイムス」にて。

月夜オフィシャルHP <http://tsukiyo.jp/>

きっかけは、脳性麻痺の友たちでした。彼は自分で歩くことも流暢に話すこともできませんが、音楽が大好きで、ほとんど自由の利かない手をうまく使って、コンピューターで作曲しています。最初は自分で創ったカラオケに合わせてひとりで唄っていましたが、ある時バンドをやってみよう、ということになり、サポートボーカルとしてわたしに声がかかり、知り合いました。

それまで障害者と呼ばれる人たちと関わりを持ったことのないわたしは、今までの価値観を覆されたような衝撃を受けました。うまく言えませんが、彼らと接していると、「生きるって何だろう?」という問いが、よりダイレクトに突き刺さるのです。そして、「人間らしさ」について考えるうちに、もっともつとやさしくなりたい、と思うようになりました。

「ヘルパー」は「月夜」とは別の顔、と書きましたが、ヘルパーとしての経験や気付きが唄に反映されていることは間違いありません。

「長い旅の果て 何が待っている

生きる それが旅

命燃え尽きるまで

心の声に 身をまかせ

今を生きたい

旅はまだ続く

「長い旅」より

わたしにとって唄は、もはや「生きる」とそのもの」と

なりつつあります。これからも唄とともに、長い旅路を歩んでゆきたいと思います。



「月夜」を支える
 かけがえない分身。

